

私たちは、南京の事実を表したこの映画をお勧めします！

伊関要（大阪城狛犬会）、江菅洋一（主権在民を実現する会）、垣沼陽輔（全日本建設運輸連帯労働組合）、中北龍太郎（関西共同行動）、野村東洋夫（「平和と電気ネット」）、前川武志（日中労働者交流協会）、松岡環（銘心会南京）、山元一英（全国港湾労働組合関西地方大阪支部）、劉中耀（大坂華僑総会）

「ニューヴァージョンー南京引き裂かれた記憶」

「太平門 消えた 1300 人」

11.28

「NANKING (南京)」

南京

ドキュメンタリー

映画祭

プログラム

9:30 開場

9:50 主催者挨拶

- ①10:00 - 11:30 「ニューヴァージョンー南京引き裂かれた記憶」 88 分 (総監修: 松岡環)
- ②11:40 - 12:20 南京戦参戦兵士 三谷さんの証言
12:20 - 12:40 連帯リレートーク
- ③13:10 - 14:25 「太平門 消えた 1300 人」 75 分 (監督: 松岡環)
- ④14:40 - 16:10 「NANKING (南京)」 88 分 (監督: ビル・グッテンタグ)

2015年11月28日(土) 9:50 - 16:10

エルおおさか南館 5階ホール (大阪市中央区北浜東 3-14)

費用：1日通し前売り券 1500 円／当日通し券 2000 円／単券 800 円

①『南京 引き裂かれた記憶』 (総監修: 松岡環)

10:00 - 11:30

長年にわたり困難を極める南京大虐殺の調査から生まれたドキュメンタリーである。 制作者は南京攻略戦に関係した加害兵士 250 名を追いかけ記録に残した。 同時に南京大虐殺の被害者 300 名も並行して調査を行い、 10 年以上にわたって追い続けた。 同時に「心のケア」を 15 年継続して老人たちを見舞つて来た。 加害と被害の両面を突き合わせると空間的、 時間的、 状況も一致する多くの事例があることに気づいた。 証言者本人やご家族との良い関係を築いてきた加害と被害 13 名の老人たちの証言を選び、 揚子江の集団虐殺と女性への性暴力を暴き出し、 見た人に「なぜこのようなことが起きたのか?」を問いかける渾身のドキュメンタリーが完成した。 2010 年に、 大阪、 名古屋、 東京、 の映画館で 27 週上映され、 香港国際映画祭、 上海国際映画祭に立てづづけて招待作品となつた。

②元海軍兵士 三谷翔さんの証言・連帯リレートーク

11:40 - 12:40

1937 年、 7 月盧溝橋事件が勃発するや、 三谷さんは 18 歳で海軍（佐世保基地）に志願兵となって入隊した。 陸軍の南京攻略に呼応して海軍は南京邇航部隊を編成し、 彼は第 24 駆逐隊「海風」に乗船した。 南京の港中山埠頭に着いた時 3 隻の筏が流れてきて、 甲板の水兵たちは銃を打ちまくった。 12 月 17 日には南京入城式に参加する為に埠頭から上陸した。 そこで見た物はうず高く積み上げられた死体の山。 帰艦してから衛兵（見張り番）につくと毎日、 揚子江河岸での集団虐殺を目撃した。 飛び散る綿片、 血潮、 揚子江を染めた血で真っ赤なしぶきが上がるのを見た。 「進んで人殺しをする為に兵隊になった」と言う三谷さん。 凄惨な南京の状況を話し、 我々が知りえなかった当時の状況を話されます。

③新作『太平門 消えた 1300 人』(監督: 松岡環)

13:10 - 14:25

南京、 玄武湖のほとりに太平門と名付けられた一つの城門があった。「太平門に於ける守備の一中隊長が処理せしもの約 1300」と中島今朝吾師団長日記に、 また「太平門外の大きな外壕が死骸で埋められてゆく」と佐々木到一旅団長の私記にも太平門の集団虐殺が記されている。 しかしこの恐るべき殺戮は、 現在まで研究者の間でまったく取り上げられてこなかつた。 それは、 後世に伝えるべく生存者が一人もいなかつたからである。 元兵士の調査を始めて数年経つ頃、「太平門の城壁の一角で捕虜を地雷、 機関銃、 焼殺。」「壕に捕虜を何百と入れて機関銃で掃射。」と元兵士の証言を採録した。 以降 5 年の歳月をかけて、 たつた一人の生存者を突き止めた。 その人は小王（シャオワン）と太平門の住民から呼ばれていた。

④『NANKING (南京)』(監督: ビル・グッテンタグ)

14:40 - 16:10

かつて、 南京大虐殺のドキュメンタリー映画を制作しようとしたアメリカのビル・グッテンタグ監督は国際安全区を立ち上げた欧米人の目を通して南京大虐殺を表そうとした。 当時のフィルムや写真を豊富に駆使しながら、 彼は俳優たちに国際安全区のマギーやフィッチ、 ボートリンを演じさせた。 たたみかけるような場面の展開は否応なく見る人を引き付ける。 この作品は 2008 年アメリカのサンダンスドキュメンタリー映画祭にノミネートされた。 するとその途端、 日本の右翼は英文の誹謗中傷文をバラまいた。 アメリカの映画界でも、 歴史を捻じ曲げる日本の右翼・歴史修正主義者の存在を印象付けた。 ドキュメンタリーでありながら演技形式も取り入れた手法は、 観客をストーリーの中に引きつける。

プログラム

9:30 開場

9:50 主催者挨拶

- ①10:00 - 11:30 「ニューヴァージョン—南京引き裂かれた記憶」 88 分 (総監修: 松岡環)
- ②11:40 - 12:20 南京戦参戦兵士 三谷さんの証言
- 12:20 - 12:40 連帯リレートーク
- ③13:10 - 14:25 「太平門 消えた 1300 人」 75 分 (監督: 松岡環)
- ④14:40 - 16:10 「NANKING (南京)」 88 分 (監督: ビル・グッテンタグ)

主催：南京ドキュメンタリー映画祭実行委員会 090-9986-0972

およびかけ人

伊関要（大阪城狛犬会）、江菅洋一（主権在民を実現する会）、垣沼陽輔（全日本建設運輸連帯労働組合）、中北龍太郎（関西共同行動）、野村東洋夫（「平和と電気ネット」）、前川武志（日中労働者交流協会）、松岡環（銘心会南京）、山元一英（全国港湾労働組合関西地方大阪支部）、劉中耀（大阪華僑総会）



エル・おおさか

〒540-0031 大阪市中央区北浜東 3-14

地下鉄谷町線・京阪電鉄「天満橋」から西へ 300m

TEL:06-6942-0001 FAX:06-6942-1933